

2024年1月25日(木)

送信先 県内組合・私教連加盟組合・分会

執行委員長・分会長 様

発信元 : 神奈川私教連 書記局

FAX: 045-212-5575 電話: 045-212-5571

電子メール: honbu@k-sikyoren.or.jp

〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階

●件名 全国の私学は一つ

北陸・能登半島地震 義援金募金の呼びかけ

みなさまのご奮闘に敬意を表します。

本年1月1日に発生した北陸・能登半島地震では、多くの方が被災されています。加えて、石川県内を中心として私立学校や私学に勤める教職員、私学に通う生徒たちやその家族にも多くの被害が出ています。添付した現地からの報告をご覧ください。

こうしたことをふまえ、全国私教連中央執行委員会は別紙の通り、義援金募金の呼びかけを行っています。これは、被災者全体の救援のための支援金、今後の生活再建のための義援金に加えて、私学とその生徒・保護者・教職員の支援のための義援金募金を呼び掛けるものです。

ぜひ、「全国の私学は一つ」の立場から、皆様の学園でも義援金の募金を呼び掛けてください。神奈川私教連では、よせられた義援金の全額を、全国私教連を通じて現地へと送りたいと考えています。

取り組み期間 1月25日(木)から 2月24日(土)定期大会まで

よせられた募金は 以下の口座に振込の上、書記局までその旨ご連絡をお願いします。

送金先 横浜銀行 本店営業部 普通預金 1734160
神奈川私学教職員組合連合 代表者 長谷川正利

以上

各県私教連（組・教）委員長 殿

全国私教連中央執行委員長

山口 直之

「令和 6 年能登半島地震」被災地への支援について

元日に発生した「令和 6 年能登半島地震」では、石川県を中心に北陸地方で甚大な被害に遭い、多くの方が極寒の中での避難生活を余儀なくされておられます。亡くなられた方々に心から哀悼の意を表すとともに、被災されたみなさま、関係者のみなさまには謹んでお見舞いを申し上げます。

石川県および北陸ブロック各県の私学の生徒・教職員およびご家族の被害状況の詳細は調査中ですが、現時点では大きな被害はなく、日常生活を取り戻しつつあるということです。ただ、校舎や体育館の一部損壊や、教職員の親戚やご実家で家屋に被害があったとの報告も受けています。

以上のような状況に際して、全国私教連中央執行委員会として、引き続き現地の情報収集にあたり、被災状況に対応するための「義援金」募金にとりくむことを決めました。つきましては、年初の多忙な時期ではありますが、下記のような緊急の支援を全国に要請します。全国私学教職員のつながりをもって被災地支援にとりくみますので、全国のみなさんのご支援・ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

記

1. 名称:「令和6年能登半島地震での被災者への義援金募金」

2. とりくみ期間

2024 年 2 月 29 日（金）までとする

（可能な場合はできるだけ早めにとりくみを提起してください）

3. 募金方法

- 各都道府県私教連・私教組・私教労連・私教が中心となり、単組・分会等に募金を呼びかける
- 集約した義援金は、都道府県組織でまとめて下記口座へ送付する
- 単組・分会単位での送付も「可」とする（その際も下記口座へ送付する）

※ すでにカンパ活動にとりくまれている組織は、本支援募金のとりにくみと統一するかどうかについては各組織の対応判断に委ねます

4. 義援金の配分について

- 全国私教連で集約した義援金は、被災した学校・生徒・教職員に配分する
- 配分先、金額および配分方法等については、石川私教労連および北陸ブロックと協議のうえ、全国私教連中央執行委員会で決定する

5. 送付先

各都道府県で集約した義援金は下記口座に振り込んでください。なお、送金後に振り込んだ旨を全国私教連へご連絡ください。

中央労働金庫市谷支店 普通預金口座

口座番号:125790

口座名:全国私立学校教職員組合連合 中央執行委員長 山口直之

以上

元日に発生した能登半島地震で被災した石川私教労連の村上委員長から、現地の状況の報告が届きました。金沢高校労組では、組合員か否かに関係なく全教職員に見舞金を配ると決めました。

1月1日に発生した能登半島地震について、石川県内の状況をお伝えいたします。

石川県は大きく能登地方と加賀地方に分かれています。

加賀地区の学校は、施設に若干の損害がありますが、通常の学校生活を送っています。ただし、未加盟校で地震当日に能登地区に帰省していた事務職員の方が亡くられました。また、加盟校でも、同じく帰省していた生徒が倒壊した家屋の下敷きになり顎を骨折、一時間後に救出されましたが、適切な処置がなされたのは2日後で現在入院中であるなどの情報を得ています。それ以外にも、自宅の断水（現在はほぼ解消）、能登地区の実家が倒壊などの事例も上がってきています。

一方、能登地区はさらに深刻な状況です。

日本航空石川高校、鵬（おおとり）学園高校は、地震による施設への直接の損害はもちろん、生徒・教職員の住む地域自体の住居の損壊、交通網・ライフラインの寸断などにより、復旧にかなりの時間がかかることが予想されます。両校ともにオンラインによる学校再開の予定が報告されていますが、日本航空石川は4月から同じグループの日本航空山梨キャンパスへ一時的に移動することが発表されました。鵬学園高校は、施設に大きな損害があったことがホームページ上で報告されており、義援金を募集しています。<https://www.ohtori.ed.jp/donation/>

また、3年生の大学入試は可能なのか、高校入試は実施できるのか、4月以降部活動の大会等は開催できるのか（実際に、1月実施予定の剣道やバスケットボールの大会が中止となりました）など、解決しなければならない問題が山積みであることは間違いありません。

この状況の中で、例えば金沢高校労働組合は全ての職員に見舞金を配ることとしました。組合員か非組合員かは関係なく、全ての教職員が一つのチームとなる必要があると判断し、その一助となればという決断でした。

最後に、ご紹介したい話があります。能登地区の親戚が被災した職員の話です。

避難所での生活が大変だろうということで、能登まで親戚を迎えに行き、加賀の自宅で、暖かい食事・風呂を準備し、洗濯を手伝って、ゆっくりと休んでもらったそうです。しかし、翌朝になると能登に戻ると言われました。もう少し、ゆっくりしていったらと引き留めたいけれども、「今、地元でできることをしなくては」と言って、すぐに避難所に戻られたそうです。

実際に石川県内でも、その状況は大きく違います。状況が異なれば、「できること」「やるべきこと」も異なります。今、石川私教労連では、自分たちに何ができるのかを考えて行動している状況です。まずは、全国の皆様に状況をお知らせすることも「今できること」だと思い、石川県内の様子を報告させていただきました。

石川私教労連 委員長 村上卓也（金沢高校）
takumurakami@kanazawa-h.ed.jp

【参考】

能登地区高校 輪島市：日本航空石川高

七尾市：鵬学園高

加賀地区高校 金沢市：金沢龍谷中・高 北陸学院小・中・高 金沢高（石川私教労連加盟校）

金沢学院大学附属中・高 星稜中・高 遊学館高

小松市：小松大谷高

**被災地の1日も早い復旧を願い、私学のみなさんを励ますために、
全国私教連の義援金募金にご協力をお願いします。**